

世界に誇る日本の新たなシンボル「TOKYO TORCH」(東京駅前常盤橋プロジェクト)
大手町・有楽町・丸の内エリア初のラグジュアリーレジデンス
日本一の高さとなる Torch Tower 高層部に導入決定
地上高さ約300mのエクスクルーシブな超都心住機能を提供

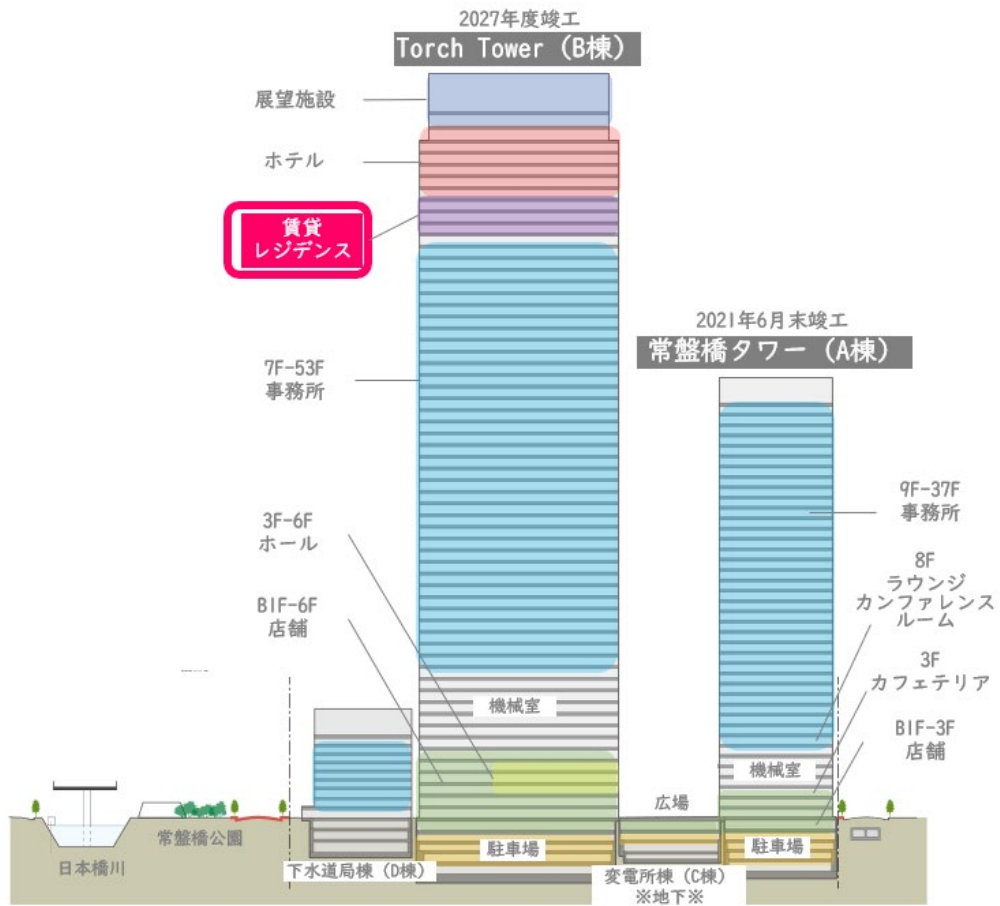
三菱地所株式会社は、関係権利者の方々と共に開発を進めております東京駅日本橋口前「TOKYO TORCH (トウキョウトーチ)」街区において、2027年度竣工予定の「Torch Tower」高層部に、賃貸レジデンスを導入することを決定致しましたので、お知らせ致します。大手町・丸の内・有楽町エリアでは、初めての賃貸レジデンスとなります。

本レジデンスは、Torch Towerの地上高さ約300mのフロアに約50戸(70㎡台~400㎡台)を予定しており、東京駅前かつ東京駅・大手町駅直結という高い利便性、日本最高層クラス地上約300mからの圧倒的な眺望、高層部に導入するスーパーラグジュアリーホテルとのサービス連携、足元の約2.0haの屋外空間や複合機能集積により、TOKYO TORCHでしか味わえないエクスクルーシブな超都心住機能を提供致します。

本レジデンスの導入により、コロナ禍によって加速した柔軟なワークスタイル・ライフスタイルをふまえ、今後ニーズがより一層増す都市生活者のワーク・ライフ・インテグレーションの推進と、これまで住機能が不足していた大手町・丸の内・有楽町エリアの価値向上を目指してまいります。

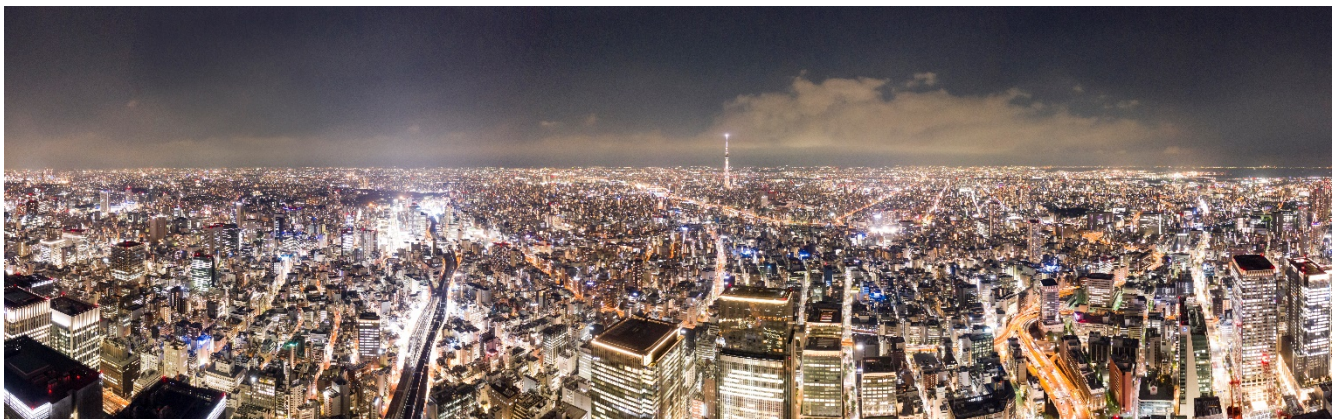


▲街区完成時の TOKYO TORCH Park 全景 (東京駅側より)



▲用途構成図

※展望施設、ホテル、賃貸レジデンスの階数については未定です。



▲地上 310m からの夜景眺望 (北東より)



▲地上 310m からの昼景眺望 (南西より)

TOKYO TORCH 街区全体完成に向けて

Torch Tower の竣工に向けては、引き続きプロジェクトビジョン「日本を明るく、元気にする」のもとに、リアルでしか体験できない感動や興奮を集積させた、世界に誇る希望の灯りとなるような日本のシンボルをつくるべく、本まちづくりを推進してまいります。



▲街区完成時の TOKYO TORCH Park 全景（東京駅側より）



TOKYO
TORCH

▲街区ロゴ

かつて江戸城へ向かう表玄関である常盤橋御門があったTOKYO TORCH街区は、常に社会の要請に応えるまちとしての役割を果たしてきました。現在の常盤橋街区は、1960年代に、下水ポンプ所・変電所等のインフラ施設との複合開発が進められ、当時、東洋一の規模を誇るといわれた日本ビルをはじめとしたオフィスビルが建設されたことで、日本の経済成長を支える街としての地位を築きました。

現在進めております10年超の期間にわたる再整備においても、その思想を受け継ぎ、「日本を明るく、元気にする」をプロジェクトビジョンとし、事業を推進しております。プロジェクトビジョンの実現に向けて新たに生まれ変わるTOKYO TORCHが果たすべき役割については、以下の3つと捉えています。

①東京・日本の魅力を発信

- 再び世界からたくさんの人々が訪れる東京・日本の玄関口となるべく、この場所でしか体験できない東京・日本の魅力を発信

②ワーク・ライフ・インテグレーションを推進

- ポストコロナ時代で、より一層重要視されるワーク・ライフ・インテグレーションを後押しし、都市で過ごす人々の人生100年を豊かにするコンテンツ・サービスを提供

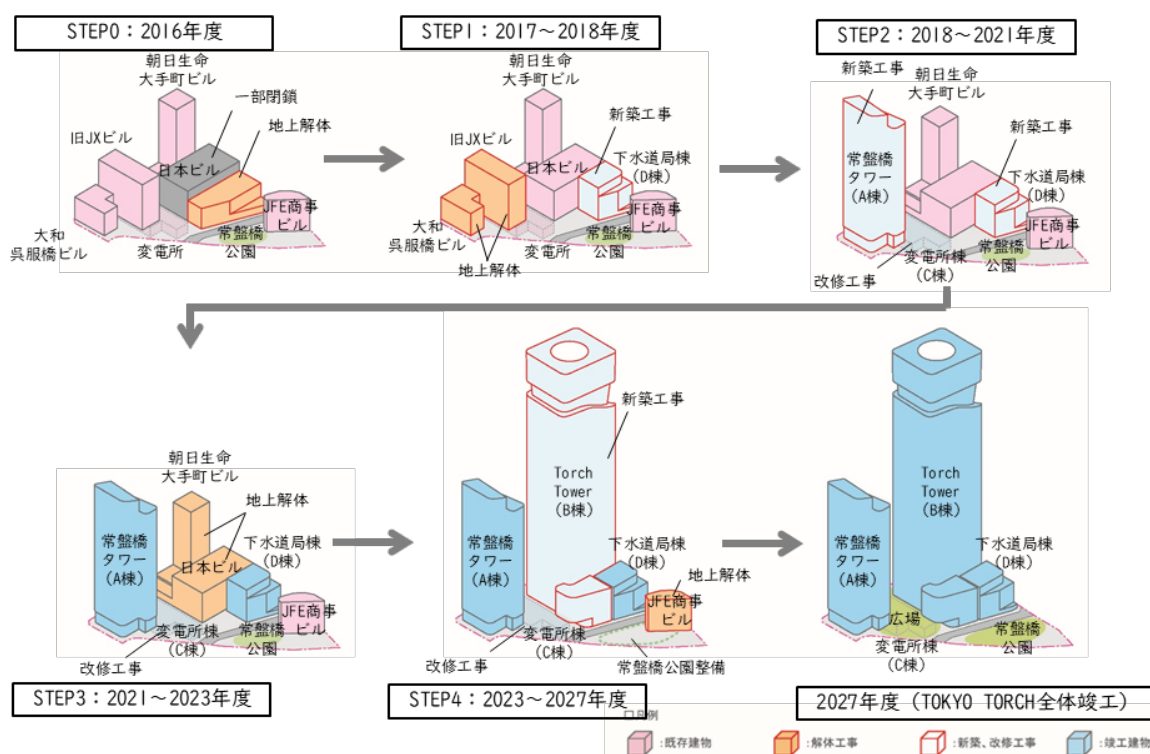
③ONE TEAMで東京・日本をリードするまちづくりを体現

- 開発段階から、本プロジェクトに共感する企業、地方自治体、個人の輪を広げ、ONE TEAMでこれからの東京・日本をリードするまちづくりを体現

<事業概要>

街区名称	TOKYO TORCH				
事業名称	大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業（施行者：三菱地所株）				
計画地	東京都千代田区大手町2丁目、中央区八重洲1丁目				
敷地面積	約 31,400 ㎡				
総延べ面積	約 740,000 ㎡				
棟別諸元	常盤橋タワー (A棟)	Torch Tower (B棟)	変電所棟 (C棟)		下水道局棟 (D棟)
主要用途	事務所、店舗、 駐車場等	事務所、ホテル、 住宅、ホール、 店舗、駐車場等	店舗、変電所、 駐車場等		事務所、下水ポンプ所、 駐車場等
延べ面積	約 146,000 ㎡	約 544,000 ㎡	約 20,000 ㎡		約 30,000 ㎡
階数/ 最高高さ	地上 38階・地下 5階 ／約 212m	地上 63階・地下 4階 ／約 390m	地下 4階		地上 9階・地下 3階 ／約 53m
着工	2018年1月	2023年度 (予定)	I期 2018年1月	II期 2023年度 (予定)	2017年4月
竣工	2021年6月末	2027年度 (予定)	2021年6月末	2027年度 (予定)	2022年3月末 (予定)
設計監理	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計 日本水工設計(株)
施工	戸田建設(株)	未定	戸田建設(株)	未定	三井住友建設(株)
関係権利者	三菱地所株、東京都下水道局、(株)大和証券グループ本社、(株)三越伊勢丹、 東京電力パワーグリッド(株)、有限会社大手町開発、独立行政法人都市再生機構 常盤橋インベストメント特定目的会社、TOKYO390 特定目的会社他				

<TOKYO TORCH 開発ステップ図>



<広域地図及び配置図>



▲広域地図



▲配置図

<プロジェクトウェブサイト>

URL: <https://tokyotorch.mec.co.jp/>

<TOKYO TORCH PARK 公式インスタグラム>

URL: <https://www.instagram.com/tokyotorchpark/>



※本リリース記載内容は、今後の検討・協議等により、変更となる場合があります。

【丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」】



三菱地所は、2020年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース: https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf